

作況調査報告（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

収量調査

場所	品種名	全重 (kg/a)				わら重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	171.8	164.2	105	159.4	64.7	70.7	96	68.1
	青天の霹靂	171.3	158.2	108	150.6	73.8	81.0	91	75.6
	まっしぐら	175.2	170.2	103	171.9	71.7	77.8	92	75.6
十和田	まっしぐら	157.5	-	-	166.8	75.6	-	-	77.6

場所	品種名	しいな重 (kg/a)				精粳重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	0.5	0.9	56	0.4	93.5	81.3	115	86.0
	青天の霹靂	0.2	0.2	100	0.2	85.2	71.5	119	70.2
	まっしぐら	0.4	0.9	44	0.4	91.8	84.0	109	92.2
十和田	まっしぐら	0.1	-	-	0.5	73.2	-	-	84.4

場所	品種名	粗玄米重 (kg/a)				屑米重 (kg/a)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	75.9	66.1	115	71.2	3.7	2.6	142	2.2
	青天の霹靂	68.6	58.3	118	57.8	1.3	2.2	59	2.0
	まっしぐら	73.4	67.9	108	69.0	2.3	2.1	110	1.6
十和田	まっしぐら	59.3	-	-	69.4	0.6	-	-	1.7

場所	品種名	精玄米重 (kg/a)				玄米千粒重 (g)			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	72.1	63.6	113	69.0	22.4	23.0	97	22.8
	青天の霹靂	67.4	56.1	120	55.8	22.6	22.9	99	22.2
	まっしぐら	71.0	65.8	108	74.3	22.3	23.2	96	23.1
十和田	まっしぐら	58.8	-	-	67.7	22.4	-	-	22.8

注1) 黒石は農林総合研究所、十和田は十和田市相坂の現地圃場。

2) 耕種概要

〔黒石〕移植日：5月20日 栽植密度：21.2株/m²

施肥 (kg/a)：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/20, 幼穂形成期11日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/12, 幼穂形成期7日後）

〔十和田〕移植日：5月15日 栽植密度：20.4株/m²

施肥 (kg/a)：「まっしぐら」0.9+0.3（追肥日7/10, 幼穂形成期4日後）

3) 平年値は、「つがるロマン」が2007年以降（13か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（5か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年以降（2009、2010年を除く11か年）の平均値。

4) 精玄米重及び玄米千粒重は、粗玄米を1.9mmのふるいで選別した値。

【概況】

黒石「つがるロマン」は、全重が平年よりやや重く、わら重がやや軽く、精玄米重は平年比113%で多収であった。玄米千粒重は平年比97%で軽かった。黒石「青天の霹靂」は、全重がかなり重く、わら重がかなり軽く、精玄米重は平年比120%で多収であった。玄米千粒重は平年比99%で平年並だった。黒石「まっしぐら」は、全重がやや重く、わら重がかなり軽く、精玄米重は平年比108%で多収であった。玄米千粒重は平年比96%で軽かった。

十和田「まっしぐら」は、精玄米重が58.8kg/aで、玄米千粒重が22.4gだった。

令和2年10月27日

作況調査報告（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

登熟調査

場所	品種名	株当たり穂数（本）				m ² 当たり穂数（本）			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	20.3	19.7	103	20.9	431	418	103	443
	青天の霹靂	21.0	19.4	108	19.2	446	412	108	408
	まっしぐら	22.8	21.0	109	22.0	484	445	109	467
十和田	まっしぐら	16.2	-	-	22.3	331	-	-	434

場所	品種名	1穂粒数（粒）				m ² 当たり粒数（×100粒）			
		本年	平年	平年比	前年	本年	平年	平年比	前年
黒石	つがるロマン	96.6	76.5	126	74.7	416	320	130	331
	青天の霹靂	71.3	63.3	113	64.9	318	261	122	265
	まっしぐら	73.0	72.5	101	76.5	353	323	109	357
十和田	まっしぐら	85.0	-	-	76.1	281	-	-	330

場所	品種名	有効茎歩合（%）				枝梗別粒数割合（%）			
						1次枝梗		2次枝梗	
		本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
黒石	つがるロマン	70.4	64.9	+5.5	72.8	50.3	60.7	49.7	39.2
	青天の霹靂	81.5	67.3	+14.2	75.1	62.2	67.4	37.8	32.6
	まっしぐら	80.5	65.7	+14.8	69.9	55.4	60.8	44.6	39.2
十和田	まっしぐら	87.8	-	-	74.0	54.1	59.8	45.9	40.2

場所	品種名	登熟歩合（%）							
		1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
		本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
黒石	つがるロマン	77.4	86.8	-9.4	91.4	93.0	95.0	62.2	85.9
	青天の霹靂	93.8	93.9	-0.1	95.1	95.9	96.0	90.3	93.3
	まっしぐら	90.1	90.0	+0.1	90.0	95.5	94.8	83.6	82.9
十和田	まっしぐら	93.4	-	-	90.0	94.0	96.6	92.6	80.3

場所	品種名	不稔歩合（%）							
		1次枝梗 + 2次枝梗				1次枝梗		2次枝梗	
		本年	平年	平年差	前年	本年	前年	本年	前年
黒石	つがるロマン	5.4	3.7	+1.7	2.9	2.9	3.0	7.9	4.1
	青天の霹靂	4.0	2.9	+1.1	2.9	3.3	2.4	5.1	3.8
	まっしぐら	3.2	3.1	+0.1	4.1	2.6	3.3	3.9	5.4
十和田	まっしぐら	3.6	-	-	3.4	3.3	1.5	4.0	1.9

注1) 黒石は農林総合研究所、十和田は十和田市相坂の現地圃場。

2) 耕種概要

〔黒石〕 移植日：5月20日 栽植密度：21.2株/m²

施肥（kg/a）：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/20，幼穂形成期11日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/12，幼穂形成期7日後）

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植密度：20.4株/m²

施肥（kg/a）：「まっしぐら」0.9+0.3（追肥日7/10，幼穂形成期4日後）

3) 平年値は、「つがるロマン」が2007年以降（13か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（5か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年以降（2009、2010年を除く11か年）の平均値。

令和2年10月27日

作況調査報告（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

【概況】

黒石「つがるロマン」は、 m^2 当たり穂数が平年比103%と多く、1穂粒数も126%と多かったことから、 m^2 当たり粒数は130%で多かった。登熟歩合（1次枝梗+2次枝梗、以下同様）は77.4%で平年を9.4ポイント下回った。「青天の霹靂」は、 m^2 当たり穂数が平年比108%と多く、1穂粒数も113%で多かったことから、 m^2 当たり粒数は122%と多かった。登熟歩合は93.8%で0.1ポイント下回った。「まっしぐら」は、 m^2 当たり穂数が平年比109%と多かったことから、1穂粒数は101%と平年並だが、 m^2 当たり粒数は109%と多かった。登熟歩合は90.1%で0.1ポイント上回った。

十和田「まっしぐら」は、 m^2 当たり粒数が28,100粒、登熟歩合は93.4%だった。

令和2年10月27日

作況調査報告（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

粒厚分布調査

場所	品種名	年次	玄米粒厚別重量歩合 (%)						
			～2.2	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6～
黒石	つがるロマン	本年	12.9	51.1	23.8	7.4	2.6	1.2	1.1
		平年	16.0	43.5	28.4	8.2	2.1	1.0	0.8
		前年	11.6	54.8	23.1	7.4	1.8	0.7	0.6
	青天の霹靂	本年	12.6	54.2	24.7	6.5	1.3	0.4	0.2
		平年	7.9	48.2	29.6	10.7	2.5	0.9	0.4
		前年	4.5	44.5	34.9	12.6	2.4	0.7	0.4
	まっしぐら	本年	10.6	51.5	27.1	7.6	1.9	0.7	0.6
		平年	11.9	47.5	28.7	8.6	1.9	0.8	0.6
		前年	13.4	58.6	20.8	5.1	1.1	0.5	0.5
十和田	まっしぐら	本年	24.8	52.4	17.9	4.0	0.7	0.2	0.1
		平年	-	-	-	-	-	-	-
		前年	17.1	58.8	17.2	4.5	1.2	0.6	0.6

場所	品種名	年次	重量歩合 (%)
			1.9mm 以上
黒石	つがるロマン	本年	95.1
		平年	96.1
		前年	96.7
	青天の霹靂	本年	98.2
		平年	96.3
		前年	96.5
	まっしぐら	本年	96.8
		平年	96.7
		前年	97.9
十和田	まっしぐら	本年	99.1
		平年	-
		前年	97.5

注1) 黒石は農林総合研究所、十和田は十和田市相坂の現地圃場。

2) 耕種概要

〔黒石〕 移植日：5月20日 栽植密度：21.2株/m²

施肥 (kg/a)：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/20, 幼穂形成期11日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/12, 幼穂形成期7日後）

〔十和田〕 移植日：5月15日 栽植密度：20.4株/m²

施肥 (kg/a)：「まっしぐら」0.9+0.3（追肥日7/10, 幼穂形成期4日後）

3) 黒石の平年値は、「つがるロマン」が2007年以降（13か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（5か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年以降（2009、2010年を除く11か年）の平均値。

【概況】

黒石「つがるロマン」は、粒厚別重量割合歩合のピークが平年並で、1.9mm以上の重量歩合も平年並だった。「青天の霹靂」は、粒厚別重量割合歩合のピークが平年並であったが、平年より上位層の割合が多い傾向だった。1.9mm以上の重量歩合は平年並だった。「まっしぐら」は、粒厚別重量割合歩合のピークが平年並で、1.9mm以上の重量歩合も平年並だった。

十和田「まっしぐら」は、粒厚別重量割合歩合のピークが2.1mmで、1.9mm以上の重量歩合は99.1%だった。

令和2年10月27日

作況調査報告（成熟期調査、収量関係調査等）

（地独）青森県産業技術センター農林総合研究所

節間長調査

場所	品種名	年次	生育調査区		節間長				
			稈長 (cm)	穂長 (cm)	第1 (cm)	第2 (cm)	第3 (cm)	第4 (cm)	第5 (cm)
黒石	つがるロマン	本年	81.5	18.6	33.1	19.4	17.1	10.3	1.7
		平年	83.6	17.9	33.2	20.3	17.1	11.1	1.8
		前年	82.5	18.1	34.7	18.6	16.2	11.1	2.0
	青天の霹靂	本年	77.8	18.2	30.7	19.2	16.1	9.7	2.0
		平年	78.9	17.6	30.8	17.6	16.3	11.7	2.5
		前年	77.1	17.3	30.6	17.1	15.9	11.1	2.6
	まっしぐら	本年	77.1	17.6	32.7	18.9	14.1	9.6	2.0
		平年	79.7	17.3	32.7	19.3	15.5	10.5	2.0
		前年	77.4	17.3	32.8	17.8	16.4	9.4	0.8
十和田	まっしぐら	本年	68.6	19.0	32.1	17.6	11.1	6.4	1.4
		平年	-	-	-	-	-	-	-
		前年	77.1	22.2	33.0	17.1	14.0	9.7	2.7

注1) 黒石は農林総合研究所、十和田は十和田市相坂の現地圃場。

2) 耕種概要

〔黒石〕移植日：5月20日 栽植密度：21.2株/m²

施肥(kg/a)：「つがるロマン」0.4+0.2（追肥日7/20, 幼穂形成期11日後）

「青天の霹靂」0.35+0（無追肥）

「まっしぐら」0.5+0.2（追肥日7/12, 幼穂形成期7日後）

〔十和田〕移植日：5月15日 栽植密度：20.4株/m²

施肥(kg/a)：「まっしぐら」0.9+0.3（追肥日7/10, 幼穂形成期4日後）

3) 黒石の平年値は、「つがるロマン」が2007年以降（13か年）の平均値、「青天の霹靂」が2015年以降（5か年）の平均値、「まっしぐら」が2007年以降（2009、2010年を除く11か年）の平均値。

【概況】

黒石「つがるロマン」は、稈長が平年より2.1cm短く、穂長はやや長かった。節間長は、第2節間がやや短く、その他の節間は平年並だった。「青天の霹靂」は、稈長が平年より1.1cm短く、穂長はやや長かった。節間長は、第2節間が長く、第4節間が短く、その他の節間は平年並だった。「まっしぐら」は、稈長が平年より2.6cm短く、穂長は平年並であった。節間長は、第3,4節間が短く、その他の節間は平年並だった。

十和田「まっしぐら」は、稈長が68.6cm、穂長が19.0cmだった。